

## ■ゲスト出演

### 香川クラリネットグループ



香川クラリネットグループは、香川県内のクラリネット愛好家によって構成されている「クラリネットだらけ」のグループです。クラリネット奏者として有名であった、故・佐倉友章氏を頂点に、「師匠とその弟子たち」によって結成して活動を始めました。その後、「師匠の弟子の弟子たち」にもその根は広がり、現在は、生涯学習の一環としてクラリネットの演奏活動を行っているアマチュア演奏家たちも含め、毎年12月に年1回の定期公演を行っています。

本日は、「クラリネット・クワイア」という形態で演奏します。「クラリネット・クワイア」とは、小さいクラリネット（E♭クラリネット）から大きいクラリネット（コントラ・アルトクラリネット）までの、クラリネットに属する楽器を使った合奏形態です。時にはオーケストラのように、時にはパイプオルガンのように…。微妙に変わるクラリネットの音色の変化をお楽しみください。

### ♪プログラム♪

- |                          |                           |
|--------------------------|---------------------------|
| 1 クラリネット・キャンディー          | L. アンダーソン                 |
| 2 ~ 楽器紹介コーナー ~           | G. ビゼー                    |
| 3 カルメン組曲より               | V Dance Boheme<br>ジプシーの踊り |
| I Les Toreadors<br>闘牛士の歌 | II Habanera<br>ハバネラ       |
| III Aragonaise<br>アラゴネーズ |                           |

### ♪曲目解説♪

#### ♪ クラリネット・キャンディー

この曲は、トランペットの活躍する「トランペット吹きの休日」やマリンバの活躍する「フィドル・ファドル」と同じように、特定の楽器奏者が大奮闘する曲の一つとして、1962年に発表されました。甘~いクラリネットをお楽しみください。

#### ♪ カルメン組曲より

I Les Toreadors II Habanera III Aragonaise V Dance Boheme

『カルメン組曲 (Carmen Suite)』は、フランスの作曲家ビゼーが作曲した歌劇『カルメン (Carmen)』の前奏曲、間奏曲、アリアなどを抜粋・編曲した組曲です。一般的に組曲として知られているのは、フリツ・ホフマンの選曲・編曲によるもので第1組曲と第2組曲があります。ビゼー自身による選曲・編集ではないこともあって、指揮者によっては演奏順を変えたり、第1・第2組曲を1つの組曲として演奏したり、2つの組曲から適宜選曲してオリジナルの組曲を編むことも自由に行なわれています。



### 《司会者紹介》

#### 次田 紗己

香川県高松市出身。古高松小学校吹奏楽部OB。  
現在は高松ウインドシンフォニーに所属し、コントラバスを担当。  
高松市立川添小学校教諭。  
ステージで演奏される音楽の楽しさを、客席のみなさんに伝えられるよう頑張ります♪

### ♪フェスティバル・スーパーバンド

〈曲目〉カルメン組曲より「終曲」 〈作曲者〉G. ビゼー 〈編曲者〉後藤 洋 【指揮】西宇 徹  
スペインのセビリアのたばこ工場で働くジプシーの女工カルメンをめぐって、闘牛士や兵隊の男性が振り回され… (以下略) 現在も上演される機会の多い、4幕からなるオペラです。今回は「終曲」ですが、別な曲名で構成されることもあります。闘牛場の雰囲気を伝えるにぎやかで熱狂的な曲の中間部には、「闘牛士の歌」が朗々と歌われます。最近ではテレビ番組、「題名のない…」の「振ってみましょう!」の紹介でも流れている名曲です。

〈曲目〉アルルの女第1組曲より「アダージエット」 〈作曲者〉G. ビゼー 〈編曲者〉西宇 徹  
フランスの富豪の息子がアルルの闘牛場で見かけた女性に心を奪われ… (以下略) オペラとして作曲された曲をもとに、後に第1, 2組曲としてまとめられ、「メヌエット」や「ファンドール」は特に有名です。第1組曲第3番「アダージエット」は、年老いて昔の恋人と再会して、過去の清い恋を語り合って抱擁する静かで美しい恋の場面で演奏されます。今日は、原曲では弱音器をつけた弦楽4部のみで演奏される美しい旋律を、スーパーバンド版編曲で、故・佐倉友章先生の追悼曲として演奏いたします。

### ♪全員による合同演奏

〈演奏曲目〉茶色のこびん 〈作曲者〉アメリカ民謡 〈編曲者〉水口 透 【指揮】安部忠明、片井潤一  
この曲は、アメリカ民謡 (J. ウィナー作曲), グレン・ミラーが編曲を加えて大ヒットし、ジャズのスタンダードナンバーとして知られています。原曲は歌で、日本でも音楽の教科書にのっている、明るく陽気なメロディが親しまれています。今日は、SWJO (14ページの広告参照) でも活躍している安部先生が指揮とトランペットで参加者全員とスווイングします。



故 佐倉友章氏

昨年6月に佐倉友章先生が他界されました。クラリネット奏者であり、元香川大学教授・香川県吹奏楽連盟理事長など多方面でご活躍されました。香川県の吹奏楽関係者はもとより、日本の音楽界のために多大な貢献をされ、功績を残されました。ビバ！プラスにも第5回に香川クラリネットグループで出演していました。(ホームページをご覧ください)。

音楽家、教育者として「耳から栄養を攝れ(とれ)」「教育とはくり返しである」等、佐倉七八(ゴロクではない!)、佐倉友章遺言集、佐倉友章新遺言集などにその教えを残されています。(非売品のため詳しくお知りになりたい方は西宇まで)

先生に育てられた私たち多くの弟子には、その言葉が染み込み、機会あるごとに先生の言葉を思い起こし、時に励まされ、時に思い知らされ…。今日参加の子どもたちにも、真剣に音楽に取り組む姿勢と音楽のすばらしさが継承されていくよう、今後も研鑽を積み活動を続けたいくたいと思います。

ビバ！プラス事務局 西宇 徹